

振り返って

先のことは、誰も分かりません。したがって今日があるのです。明日は前を見て、今をどう生きるかしかない。今この不況で、苦しんでいる経営者が多くおいでます。すべてを専門家に任せにせず、自らの判断基準を持ち、自らが切り開くしかないのです。一番頼れるのは自分自身、錯覚でも良いのです、自分が信じてあげなければ、誰が信じるでしょうか。それだけ経営者は自己に對

し厳しく孤独です。種をまき芽が出るまでには時間がかかります。物理でも結晶ができるまでに一定条件で放置すること

が必要です。何事も表に見えるまでに時間がかかるものです。

正直者に 神宿る

順調な時代の「アリさん」と「ギリギリス」でありませんが、備えが足らなかつたと自省し、

定、人が新たな価値を形成します。チャレンジの数や経験で新たな進歩と、企業の独自性を

自身の構造改革を怠った結果と大反省。そもそも安易な道を選択したのです。その結果は、得たものより失ったものが多いはずで、人が行かない道にこそ道が開けます。

それが資産勘定、人が新たな価値を形成します。チャレンジの数や経験で新たな進歩と、企業の独自性を

おしなべて道義に反した非情な手段を行使するものです。自らを省みず、他を先に自分を後に、社会の進歩と発展のために、そもそも子供達に恥じない行いをするのが親である大人の責任です。

私の寛容が足りないのか、昨年の起きた件を見ても、今社会が衰退過程であるのを見

生み、人を育て、会社の強い背骨になります。

不純な人は自らを正当化し、おしなべて道義に反した非情な手段を行使するものです。

自らを省みず、他を先に自分を後に、社会の進歩と発展のために、そもそも子供達に恥じない行いをするのが親である大人の責任です。

私の寛容が足りないのか、昨年の起きた件を見ても、今社会が衰退過程であるのを見

前号で私が思う復活の方向を示したのですが、これまでの日本の方策は完全に立ち行かなくなりま。現状ではこれからの変化はないと思います。

米欧の戦勝国勢力は日本潰しに狙いを付けています。

まだ奪い利用する価値が存在しています。それは日本の金融資産（郵貯）です。

社会のフラット化、インターネットによって越境す

日本の時代 が終焉した？

る投資主体の投資銀行が直接投資から間接金融へ、すなわち不動産担保信用を復活させ狙い打ちが想定されると観ています。

これには我が国固有の歴史感覚によってのみ対峙でき、時代を開く秘密の鍵です。今までの制度で、なぜ日本が豊かになったんだろ

を、昨今リーマンショックに見た。崩壊が次々証明されています。

を、昨今リーマンショックに見た。崩壊が次々証明されています。



「鋭い喜び」は発見の喜びです。

考え続けると、意識の下に隠れたものが

徐々に成熟し表に現れる瞬間があります。それまで考え続ける。どうして、何故、そして表に出てきたとき

c2ch考よう

決しています。考えるのはタダ、とことん考えるしかないようです。

て取れます。

徒党を組み私物化し、後ろ足で泥を懸ける行為。移転と称し「乗っ取り」を画策、正当化する。いかに飾ろうとも、天に恥じる私欲の塊の何物でもない。

力（武力・金）が正義の西欧思想と何も変わらない。

相手の立場に立てば不遜な行動を取れるはずがない。道義や信義が失われれば確実に日本社会が衰退していきます。

道義を失ったものは動物の満足に外ならないのです。法律の目は荒い。その前に道義や信義という規範が日本社会には歴然と存在しているのを、忘れてならないのです。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2009年6月22(月) N039

地域から明るい未来を作ろう